

# 天空の窓

シエルの会 会報  
発行 2009. 10. 25

## 1 会長挨拶

短かった夏が過ぎ、秋も深まりをみせる頃となりました。会員の皆様におかれましては、お変わりはございませんでしょうか。また、いつも当会へのご理解とご協力をいただいておりますことに、役員を代表しましてあらためまして感謝申し上げます。

日本の景気は上向きが伝えられてはおりますが、過去最悪の失業率に加え、勤労者の給与総額も14か月連続で減と報じられるなど、国民のくらしはまだまだ厳しさが続いています。9月に発足した新政権はセーフティネット機能強化を打ち出し、マニフェストで障がい者への公的サービス費用を一割自己負担とする負担増をもたらした障害者自立支援法の廃止を明言しており、12月までに新たな制度を検討するとしています。他団体とも協力しながら、必要な行動も行いながら、我々の願いが届くよう見守っていきたいと思います。

さて、この間の動きについて、いくつかご紹介いたします。まず、5月の総会で決定されました、日本発達障害ネットワーク（JDD）への入会の件ですが、9月のJDDの第15回の理事会で承認されました。これで加盟団体は65となるそうです。JDDは、当事者支援だけでなく、発達障がいに関する法令・制度の改定、社会的理解の向上、社会的資源の拡充、専門家の育成や社会的地位の向上などにも積極的に取り組んでいる組織です。JDDの主催する地域ミーティングが、昨年に引き続き今年も予定されています。ぜひご参加ください。また、宮城県の発達支援ひろがりネット主催の学習会「組織開発支援プログラム」が開始され、シエルの会からは濱名副会長に参加していただいています。そして、子供たちの楽しみにしているクリスマス会がもうすぐです。準備に無理のないよう、そして多くの子供たちが参加できるように、役員会で議論をいただいています。

シエルの会は、会員ひとりひとりが力を出し合って運営する組織です。一部の方に無理のかかることのないよう、会員みんなで協力をいただきますよう、重ねてお願いいたします。

新型インフルエンザは、これからがピークだと言われています。今後もさまざまな行事が計画されています。くれぐれもご自愛くださいますよう。

2009年9月末日

シエルの会会長 須崎克己

## 2 シエルの会 各グループ活動報告（中間）

### 1) 小学生グループの活動報告

小学生グループは、親睦を目的としたランチ会と茶話会を行いました。

#### ◆7月3日 長町モール カプリチオーザにてランチ会

参加者 6名

おいしいランチを食べながら、それぞれ学校のことや家での出来事など、いろいろ楽しく話すことができました。日ごろなかなか子供のことを、気軽に話したりすることができないため、同じ悩みを持つ親同士話が尽きることはありませんでした。もちろん、わが子のお茶目な一面など、面白い話もでてきて、楽しい時間を過ごしました。

#### ◆9月20日 福祉プラザ大広間にて茶話会

参加者 大人5名 子供6名

ボランティアさんをお願いし、茶話会を行いました。広い和室をお願いしたので、子供と部屋を分けて活動しました。

親はクリスマス会の話や日ごろの出来事や困っていることなど、みんなで話し合いました。

子供たちは、ボランティアさんと新聞で遊ぶことを予定していたのですが、風船が気に入ったようで、みんなでバレーボールっぽいことをしたり、新聞でバットをつくり野球をしたり、体をつかって楽しく遊ぶことができました。女の子は、折り紙でかわいく風船を飾ったりもしていました。おやつも仲良くたべました。

初めて会うお子さんも多く、兄弟児もきてくれたので年齢も幅が広く、うまく遊べるか心配もありましたが、ボランティアさんのサポートがあり、楽しく過ごすことができましたようです。

◆小学生グループは、現在16名の方が会員ですが、なかなか大勢の方がそろうことが少なく、お互いのこともわからないことが多いので、今年度はまず親同士が親睦を深めることやっていきたいと考えています。そして、やがてそれが子供たちの活動に結びつくようになればと思います。（小学生グループ 代表 N）

### 2) 中学生グループ活動報告

中学生グループは、6月に「高校生の保護者に高校のお話を伺う」活動を行いました。国立、公立、私立、通信制高校の様子や受験の話など、私達の知りたい情報をたくさん伺うことができ大変有意義な場となりました。その間、子供達はボラさんとクッキー作りを行いました。こちらも楽しい、美味しい時間となったようです。今後の活動は、アンケートの結果をもとに、親向けの勉強会を行う予定です。

### 3) 高校生グループ活動報告

#### ◆ 6月28日(日) 13:00~ 福祉プラザ 第三研修室

##### 【中学生グループ行事での講話】

☆ 中学生グループより「高校入試、高校生活について話を伺いたい」との要請があり、高校生Gより5名参加いたしました。

入試を控え、不安になっている親御さんやまだ少し時間がある親御さんたちと今後や今の生活についてお話ししました。こちら側としても、同じ高校生の生活の様子やいろいろなお話が聞けて大変有意義な時間でした。

#### ◆ 8月1日(土) 18:00~20:00 一番町「ミア・アンジェラ」

##### 【保護者親睦会】

☆ 9名参加。

美味しい料理と2時間飲み放題にて女性だけで大変盛り上がりました。

2時間では物足りず、半数程が二次会(コーヒーショップです)参加。

遅くまで話しは尽きませんでした。

いろいろな話が聞け、グループの親睦が深まりました。

#### ◆ 8月4日(火) 10:30~12:30 東北工業大学にて

##### 【勉強会】

☆ 定例会にてお世話になりました布柴先生のご好意で、東北工業大学に出向き勉強会を行いました。参加者12名(内中学生グループ1名含む)

☆ 布柴先生、菊地先生(ライフデザイン科)、伊藤先生

☆ 定例会での講話の概要の後、一人一人の質問にお答えいただきました。

特に印象に残っていることは、「何回も繰り返す言葉が浸み込んでいく」

ということ。(たとえば、落ち着きがない等と繰り返し注意していると、本人も自分で言うようになってしまう・・・など)

言い方を変え、プラス思考になるような言葉を繰り返し言うようにするとよい・・・ということでした。

家族支援、特に父親の参加ということについても、いろいろとアドバイスをいただき、大変有意義な時間でした。

#### ◆ 8月22日(土) 10:00~ 仙台プレイボーリング

##### 【高校生交流会 ボーリング】

☆ 会員12名、ボランティア大学生3名、保護者4名参加

☆ 2ゲームを行い、グループに分かれて楽しい時間を過ごしました。

さすがに高校生ともなると、安心して見守っていることが出来ました。

最後は、一応合計点の順位を発表し、みんなで拍手をしてお開きにしました。

#### ◆ 今後の予定

10月現在、巷ではインフルエンザが流行しております。

特に宮城野区では警戒区域とされ、学年閉鎖、学級閉鎖が相次いでおります。

その現状を踏まえ、当初10月に高校生グループ行事として「いも煮会」を予定していたのですが、食品を扱うということもあり、ひとまず見送ることといたしました。12月にシエルの会全体で行う「クリスマス会」に高校生グループは初めて「スタッフ」として参加し、当日の役割または小学生等の会員さんの手助けが出来れば・・・と計画しております。

自分達が楽しむだけでなく、周りに目を向け、とりわけ小さい子供達がどうすれば楽しんで参加してもらえるか？等、考える機会が出来ればと考えております。(I. I)

#### 4) 青年グループ活動報告

キャリアカウンセリング(横野先生)の勉強会に参加して(感想)

◆何とか大学合格したものの、2年後いよいよ就活が待っている息子。「親の心子知らず」で全く気に掛けていない様子。こんな状態で本当に社会の荒波を乗り切れるのか?何か今から準備しておくことはないのか?日頃そんな漠然とした不安を持ちながら、横野先生の勉強会に参加しました。

先生曰く、子供を褒め、認め、励ましながら、子供が納得する仕事を見つけられるよう支援助けする、そんな接し方スタンスが大事で、苦手なことは何度も簡単なことから具体的に経験させ自信を付けさせることが大切とのこと。また会社が求める社員像は、社会が変化してもコミュニケーションやチャレンジ精神が重要視され面接ではこれをアピールできればとのこと。それと家事手伝いは段取りを覚え、仕事の実行力に繋がるから出来るだけやらせなさいとのことでした。「なるほど!!」とうなずいたものの、これってこれまでの講演会や勉強会で先生方から聞いてきたことと殆ど一緒。但し、これまでは大学、医療関係者の方の話で社会人として幅広く経験された横野先生の話はとても説得力がありました。素直に、先生のお話を肝に銘じ、子供に接していきたいと思いました。

とは言え、これまでの自分を振り返ると子供を褒め認める気持ちを持ち続けることは結構難しく、つつい感情的になることも事実です。息子と口喧嘩をした後、自分に嫌悪感を持つこともしばしばです。結局、子供を成長させるためには、私自身も息子を一人の個性ある人間として見るができるよう成長していく必要もあるかなと感じています。それから改めて感じたことですが、子供は一人として同じではないし、当然親子関係が全く同じということはないと思います。だから先生方の話を参考にしつつも、子供の性格を親がしっかり受止め、子が納得する将来を親子で主体的に考える事がとても大事だと思いました。(M. T)

◆キャリアカウンセラーという職業がある事は、前から知っておりましたが、実際に身近に接し、お話を聞いたのは初めてだったので、とても良い経験をさせて頂き、大変勉強になりました。もっと早く、横野先生のようなすばらしい、バイタリティ溢れる方に巡り会っていればよかったなあとつくづく思いました。そして、子供の特性を

良く理解し、子供の目線と同じところに立って考えて下さる先生のような方が、もっとも増えてくれればいいのになあとつくづく思いました。 (O)

### 3 その他

#### 『進路に向けて』

高校生ともなると、進路については差し迫った問題になってきます。我が家については何が必要なのだろうと考えていたところ、いくつかの出会いがありました。

今年、藤原加奈江先生の TEACCH 勉強会に参加することが出来、とても良かったと思っています。これから進学するにしても、就職するにしても、「必要なことが出てきたら対応する能力を身につける」ための支援者の心構えと方法を具体的に教えて頂いております。

久々の書店立ち寄りで「アスペルガー症候群 就労支援編」講談社 監修 佐々木正美、梅永雄二 を目にし、即購入してきました。見やすく、わかりやすく、簡潔で、家族で読もうと思っています。

この間、オープンキャンパスに息子と行って参りました。土日切符でお出かけし慣れている彼に案内されて、安心して歩けたのですが、歩くのが早くて、待てよ、後ろに気づけ！「こういうときは年寄りに、歩く速度をあわせるもんだ。」と思わず語気を荒げてしまった。親はいつまでも若くないよ～ということがわかったかな？文化祭中の学校説明会、のどかな雰囲気、真面目そうな子供たち、学校紹介のビデオを見て、「よし、ここに決めた。」と笑顔で息子は言いました。目標が決まってよかったね。ここで思い出した東北工業大学の布柴先生の講演会の言葉。“「自己決定」がキーワード。気づきが自己選択につながる。自己選択出来たことは「自己責任」を取ることが出来、困難にも「主体的」立ち向かっていくことが出来る。”・・・親の方も気づきの毎日です。 (S)

\*\*\*☆\*\*\* 編集後記 \*\*\*☆\*\*\* \*\*\*☆\*\*\*

今回も皆様のご協力のおかげで今年2度目の「天空の窓」を発行することができました。お忙しい中、原稿をお寄せいただきましてありがとうございます。

会員相互の情報交換の場、あるいは会員の縦の関係を補足する場として、この会報を生かしていただければと考えておりますが、まだまだ気さくに投稿できるまでに成長しておりません。会員がより参加しやすい会報をめざして、工夫や提案がございましたら、どしどしお寄せください。

「みんなで作る、みんなの天空の窓にしていきましょう。」